



ながら SDGs 通信 第 6 回 目標 3. すべての人に健康と福祉を

長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太



今月は「目標 3. すべての人に健康と福祉を」です。健康な暮らしは、SDGs のさまざまな目標を達成する上で欠かせないものです。これまで世界では、平等な保健・医療サービス、予防接種、衛生的な水の提供などによって、多くの国で寿命が延び、若い子どもの死亡率は下がり、より良い治療が受けられるようになってきました。

目標 3 の重要なキーワードに「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)」があります。UHC とは、「全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる状態」を指します。日本は、国民皆保険制度や保険医療へのアクセスなど、UHC の達成にいち早く取り組み、世界有数の健康長寿の国になったと言われています。

さて、SDGs は 17 の目標の下に、より具体的な目標を示す 169 の「ターゲット」があります。目標 3 のターゲットには、感染症への対処 (3.3) やワクチンの開発 (3.b) に関する記載があります。SDGs が採択された 2015 年時点で、感染症対策は持続可能な社会の達成目標の一つでした。SDGs は遠い未来の話ではなく、私たちの身近に起こりうる課題として考えるべきものです。

(出典) 国際連合広報センター「すべての人に健康と福祉を」、
厚生労働省「2018 年世界保健デーのテーマは「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)」です。」